

南無ちゃんのブログ 2022年5月

目次

5月1日	牛窓から朝帰り.....	2
5月2日	牛窓でセーリング.....	2
5月3日	トウモロコシと白瓜の定植.....	3
5月4日	草刈の日々.....	5
5月5日	スズメバチ捕獲トラップの設置.....	7
5月6日	DXCC Challenge のプラックが届きました.....	9
5月7日	VB.NET で書いた MySQL アプリが突然動作不能に.....	10
5月8日	ブドウの株元に畧表を敷く.....	13
5月9日	防除②.....	13
5月10日	芋の葉が齧られた.....	15
5月11日	VP5MA Turks and Caicos Islands.....	16
5月12日	CQ WW contest 2021 CW 部門の結果.....	18
5月13日	気象観測装置の改良(その3).....	19
5月14日	安芸クイーンとデラウェアを摘穂し誘引を開始.....	20
5月15日	ピオーネの摘穂開始.....	22
5月16日	ブドウの若木を育てるのも楽じゃない.....	22
5月17日	ナイロンカッターで草刈.....	24
5月19日	ピオーネとシャインマスカットを捻枝.....	27
5月20日	デラウェアの開花前ジベ処理.....	28
5月21日	ピオーネの誘引を開始.....	28
5月22日	スピードスプレーヤーの点検・整備.....	29
5月23日	防除③.....	30
5月24日	モモにスミチオン乳剤は失敗だったかも・・・.....	31
5月25日	安芸クイーンの花穂整形.....	32
5月26日	誘引作業は難し〜い.....	34
5月27日	デラウェアの摘心と安芸クイーンのマシン処理.....	37
5月28日	安芸クイーンの摘心.....	39
5月29日	溜池が干上がりました.....	39
5月30日	シャインマスカットのマシン処理と摘心.....	40
5月31日	デラウェアが満開・モモの摘果.....	41

5月1日 牛窓から朝帰り

昨日は、久しぶりにセーリングを楽しむために牛窓に行きました。10時半頃から、クルー5人とキャプテンを合わせて6人で沖に出ましたが、生憎の風でセーリングとまではいきませんでした。天気は良かったので、海の上でくつろぐことが出来ました。

前島の東からヨットハーバーを目指して帰っている途中で、辛坊治郎さんに会いました。牛窓ヨットハーバーに彼の船が係留されているという噂は聞いていましたが、まさか本人が来ているとは思わなかったのでびっくりでした。



昨夜は、お酒を飲んで牛窓で一泊しました。今日、風が吹けばセーリングに出ようと思っていましたが、今朝も風だったので9時半頃牛窓を出て帰宅しました。

5月2日 牛窓でセーリング

今日も牛窓に行きました。今日の天気予報は晴れで、適度に風が吹くとのことでした。今日は娘婿と一緒にです。娘婿は初めてクルーザー乗船体験なので、とても期待しているようです。

10時過ぎに牛窓ヨットハーバーに着きました。この時には5m/s位でした。沖に出ると次第に風が強くなり、12時頃には10m/s(20knt)位の風で白波が立つ位の良い風でした。風があって、天気は晴れという絶好のセーリング日和でした。3日間待った甲斐があったというものです。娘婿も大いにセーリングを満喫できたようで、良かった良かった。



5月3日 トウモロコシと白瓜の定植

今日は早朝から苗の定植作業をしました。種を蒔いてポット苗で育てていたトウモロコシと白瓜が定植できるサイズに成長したので、定植しました。





今日は早朝から苗の定植作業をしました。種を蒔いてポット苗で育てていたトウモロコシと白瓜が定植できるサイズに成長したので、定植しました。





5月4日 草刈の日々

朝は刈り払い機でブドウ園の法面の草刈りをしました。その後、ピオーネの2巡目の芽かぎをしました。未だ出揃っていないような感じなので、芽かぎをするには早すぎたのかもしれませんが。



昨日、北木島に釣りに行った娘婿は、しっかり鯛を3尾釣ってきたとのことで、今日のランチは町内に住む娘夫妻の家にごちそうしてもらいました。近くに住んでくれているというのは、ちょくちょく

行き来ができて有難いことです。



昼下がりに帰宅してから、今度は乗用草刈機でブドウ棚の下や、隣地の草刈りをしました。



5月5日 スズメバチ捕獲トラップの設置

昨年ブログを見ると、4月23日にはスズメバチを捕獲するための罠(トラップ)を設置していましたが、今年は今日設置しました。トラップは、昨年使っていたものを掃除して再利用しました。エサ(蜜)は昨年と同じレシピで作りました。



2リットル入りのコーラのPETボトルを加工したトラップ4本に蜜を底から4cm位のところまで入れました。10時過ぎに設置作業を完了しました。その後、草刈りやブドウの芽かぎなどの作業を終えて、3時過ぎに無線小屋に行った時にトラップを見ると、たった数時間しか経っていないのに、複数のスズメバチが入っていました。中には、5cmもあろうかというオオスズメバチもいました。



設置した4本のトラップのうち、1本を除く3本に複数のスズメバチが入っていて、合計で10匹

以上も捕れました。いやはや、タイムリーというか信じられない程の成果です。



5月6日 DXCC Challenge のプラックが届きました

昨年末に DXCC Challenge が 2000 になったのを機に、プラックを申込みました。3月に申込んで、4月上旬に発送されたのがやっと届きました。またまた ARRL を儲けさせてしまいました。それにしても、プラックに記載された日付である 2021 年 12 月 15 日というのは何を意味するのでしょうか？ DXCC Challenge が 1000 を越えたの随分前ですが、この日付は、Application history を見ると最後に LoTW でクレジット申請した日付と一致しています。この日に DXCC Challenge が 2004 になり、2000 を越えたのでした。



今朝は、新アンテナファームの草刈りをしました。現在、6m用のアンテナ(boom長15mの10エレ八木)を下ろしていますが、もうじきマルチホップのDXシーズンなので、ボチボチ準備に取り掛かるつもりです。

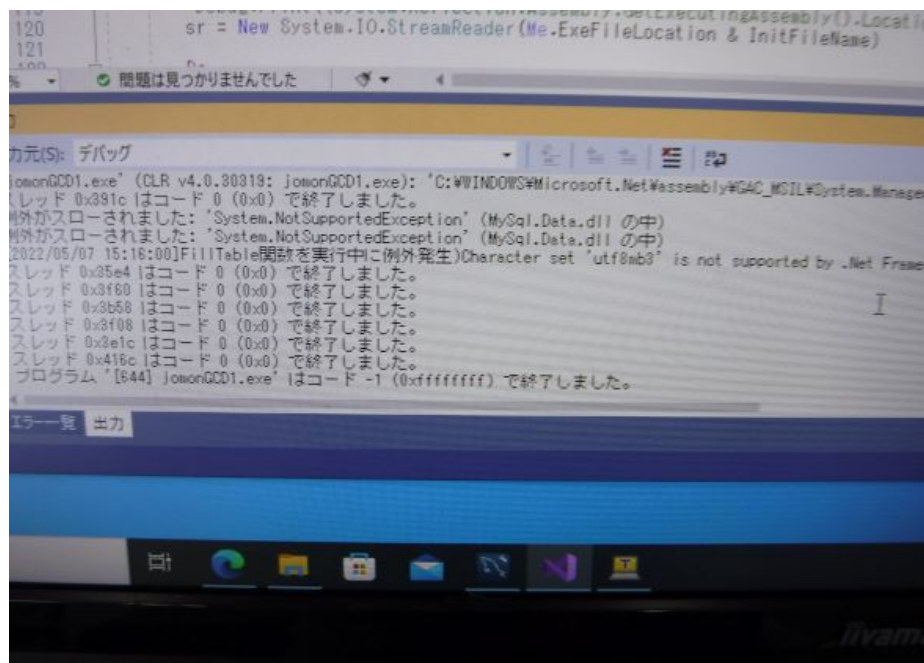


3時のおやつに、妻にかしわ餅を作ってもらいました。毎年、この時期にかしわ餅を食べるのを楽しみにしています。このために、柏の樹を家の近くに植えて、あまり高くないように管理しています。今年は、虫食いの穴が少ない葉が採れました。



5月7日 VB.NET で書いた MySQL アプリが突然動作不能に

昨日、とある方から電話があり、私が書いたアプリが動作しなくなった(エラー終了する)というのです。Linux (Ubuntu) 上で MySQL サーバーが動作しており、Windows10 パソコンから MySQL サーバーにアクセスするというシステムで、Windows10 側のアプリは VB.NET 2019 で書いています。

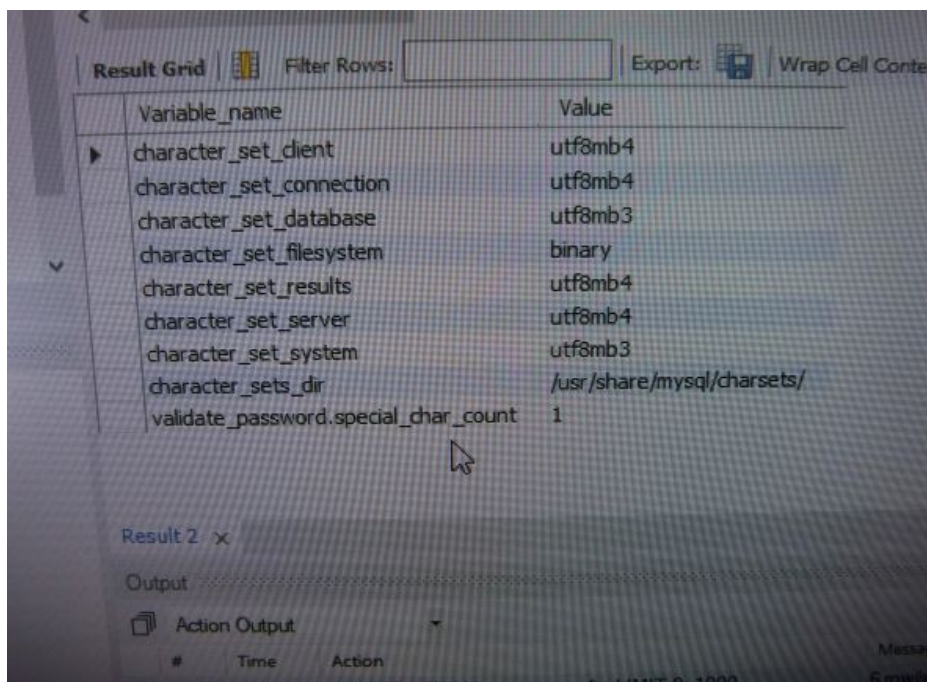


今日、電話で詳しく状況を確認すると、Windows10 パソコン側で MySQL Workbench を使って MySQL にアクセスすると正常にデータベース(テーブル)にアクセスできるというので、ネットワークを含めハードウェアは正常に動作しており、データベースも正常に動作しているようです。

電話では、これ以上のことは分からないと判断し、詳しい状況確認のために、岡山市内まで車を走らせました。VisualStudio を使って VB.NET アプリを起動してみると、Character set 'utf8mb3' is not supported by .NET Framework という例外が発生して、アプリケーションが異常終了していることがわかりました。この例外は、MySQL.Data.dll の中で発生していることもわかりました。

データベースの更新状況から、5月3日までは正常に動作していたようです。何故、突然 .NET Framework でサポートしていないなどと言い出したのでしょうか？ ネット検索してみると、同じような状況で困っている人がいることがわかりましたが、即座に対応策に結びつくような記事は見当たりませんでした。検索した事例の中には「MariaDb では・・・」というものもありましたが、私が使っているデータベースは、ORACLE の MySQL です。.NET Framework の方では、'utf8mb4'なら大丈夫そうなので、MySQL の側で'utf8mb3'の代わりに'utf8mb4'を使うようにすれば解決できそうです。

MySQL Workbench を使って、MySQL サーバー側のデフォルトのキャラクタセットがどのように設定されているのか確認したところ、'utf8mb3'と'utf8mb4'が混在していることがわかりました。



The screenshot shows the 'Result Grid' in MySQL Workbench displaying the character set configurations for various MySQL components. The table has two columns: 'Variable_name' and 'Value'.

Variable_name	Value
character_set_client	utf8mb4
character_set_connection	utf8mb4
character_set_database	utf8mb3
character_set_filesystem	binary
character_set_results	utf8mb4
character_set_server	utf8mb4
character_set_system	utf8mb3
character_sets_dir	/usr/share/mysqlCharsets/
validate_password.special_char_count	1

全部のキャラクタセットを'utf8mb4'に統一すれば問題解決できそうです。

一応データベースのバックアップを取ってから、次のような手順で全部のキャラクタセットを'utf8mb4'に変更・変換しました。

(こちらの記事を参考にしました。)

<https://www.karakaram.com/changing-the-character-set-to-utf8mb4-after-creating-mysql-table/>

1) テーブル内の全ての文字コードと全てのカラムの文字コードを utf8mb4 に変換する。

```
ALTER TABLE テーブル名 CONVERT TO CHARACTER SET utf8mb4 COLLATE utf8mb4_general_ci;
```

全てのテーブルについて上記コマンドを実行する。

2) データベースの文字コードを utf8mb4 に変更する。

```
ALTER DATABASE データベース名 CHARACTER SET utf8mb4 COLLATE utf8mb4_general_ci;
```

3) テーブルの文字コードを変換する。

```
ALTER TABLE テーブル名 CHARACTER SET utf8mb4 COLLATE utf8mb4_general_ci;
```

全てのテーブルについて上記コマンドを実行する。

上記の作業により、突然エラー終了するようになった Windows10 アプリが、従来と同じように正常に動作するようになりました。ホッとしました。後で、ブログを書いている時に、3)の作業は1)とダブっていて不要だったのではないかと思いましたが、実際はどうなのでしょう？

ところで、utf8mb3 と utf8mb4 との違いは何なのでしょう？？(こちらの記事を参考にしました。)

私は、この問題に直面するまで utf8mb3 も utf8mb4 も聞いたことがありませんでした。唯一知っていたのは、utf8 だけです。utf8 のことを utf8mb3 と呼んでいるようです。つまり3バイトの utf8 という意味のようです。これだと表現できない文字があるので、4バイトの utf8 が考案されて utf8mb4 と呼ばれるようになったみたいです。つまり、utf8 だと問題あり！なので、デフォルトとしては utf8mb4 を指定しましょうね・・・ということのようです。

でも・・・突然使えなくなるなんて酷いじゃないですか?! この Windows10 アプリは、昨年10月にサーバーを引っ越しする時に、再ビルドしたので、この時に問題が発覚していれば、それなりに対応したのに・・・今さらジローです。

5月8日 ブドウの株元に畳表を敷く

毎年この時期になると、ブドウの樹の株元に畳表を敷きます。勿論、畳表は廃品で、知り合いの畳屋さんから頂戴したものです。1本あたり2枚(二畳)を敷いて、Uピンで固定しました。目的は防草で、ブドウの樹の株元に草が生えないようにして、コウモリ蛾などの虫害を防ぐためです。



その他、朝一には1時間程草刈りをして、午後から新アンテナタワーのコンテナハウス周辺とアンテナタワーの基部周辺に除草剤を散布しました。その後、ブドウとモモに灌水しました。

5月9日 防除②

GWが終わったこととは無関係ですが、今週の中頃から雨が続きそうなので、防除作業をしました。2番目の必行防除なので、防除②と呼んでいます。ハダニ対策として、ピラニカ水和剤2000倍と展着剤アピオンE500倍の薬液を400リットル調整しました。



今回も動力噴霧機を使用して散布しました。今日は曇天が続いて涼しいくらいだったので、良かったです。次回からは、スピードスプレーヤーを使用する予定です。7時半頃から作業を開始して、10時頃までかかりました。ブドウを作っていて、この防除作業が一番辛い重労働です。



GWが終わったので、午後からお酒やつまみなどを買い物に出かけました。買い物から帰って、スズメバチトラップが満員状態になっていたので、トラップにかかったスズメバチなどを取り出して、トラップの中を蜜だけのクリーンな状態にリフレッシュしました。5月5日に設置してから僅か4日経っただけですが、4本のトラップにかかったスズメバチなどの量は写真の通りです。



大きさ5cm位のオオスズメバチであろうと思われる個体が7匹くらいありました。凶悪な顔立ちです。



5月10日 芋の葉が齧られた

今朝、ブドウ園の一角に植えているサツマイモの苗に水遣りをしに行くと・・・なんと！昨日定植したばかりのサツマイモの苗の葉が齧られているではありませんか！ショックです。



最初、2株植えていたのですが、植える時にもう1株植えられるだろうと思ってスペースを開けていて、昨日、ホームセンターに立ち寄って植えたばかりなのです。多分、犯人は野兔です。葉っぱが5枚程なくなっています。幸い、成長点である先端部は残っているので、大丈夫じゃないかと思うのですが、このままでは、他の苗も食べられてしまいそうなので、対策を講じました。



ピッチの狭いワイヤーメッシュを2枚山形に組み合わせて、両側の隙間にネットを詰めました。このワイヤーメッシュからはみ出る位まで成長したら、ワイヤーメッシュを取り外そうと思います。

それにしても、野兎の奴め！・・・ブドウ園は、冬の間から野兎の菜園場になっているのです。野兎と一目で分かる糞をよく見かけています。いつか懲らしめてやるぞ！

5月11日 VP5MA Turks and Caicos Islands

長い連休が終わって、日常に戻ったように気がします。というのは、正月とゴールデンウィークはパイルアップに参加しても飛ばないと1990年代からずっと思っていて、これらの期間は無線機のスイッチを入れるのを控えているのです。

昨日の朝、野良仕事に出かける前にワッチを開始したら、いきなりVP5MA (Turks and Caicos Island)が15mバンドに出ているというので、チューニングして呼ぶと直ぐに応答がありました。FT8では初VP5です。

>>>画像 JTDX 21MHz

今日は朝から雨だったので、無線小屋で過ごしました。電子工作をしながらワッチしていると、VP5MAが17mバンドに出ているというので、呼ぶと、比較的簡単にQSOできました。17mではバンドニューです。

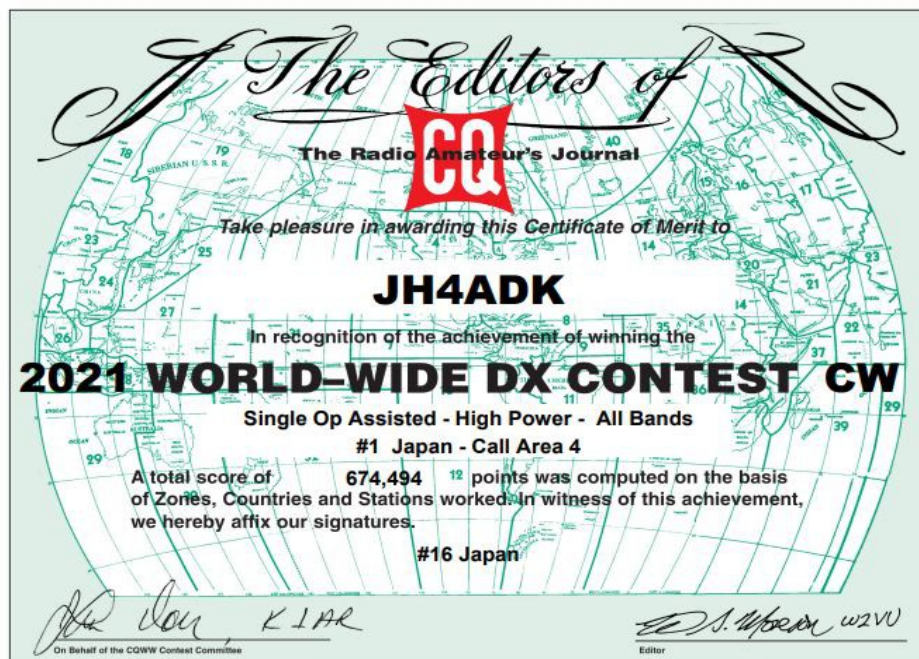
>>>画像 JTDX 18MHz

いずれもF/Hモードでした。QRZ.comを見ると、ClublogのOQRSでQSL請求ができるようですが、現時点ではまだログがアップロードされておらずQSOのコンファームはできていません。

LoTWを開いて、Find Callで調べてみましたが、VP5MAはLoTWにログをアップロードしていないようですので、残念ながらLoTWではコンファームできそうにありません。

5月12日 CQ WW contest 2021 CW 部門の結果

先日、CQ WW ccontest 2021 CW 部門の結果が発表されました。昨年は一昨年に比べて運用時間が23.3時間と少なく、スコアも一昨年の半分程にしかならなかったのですが、全く期待していませんでしたが、なんとJA4 エリアトップという成績でした。

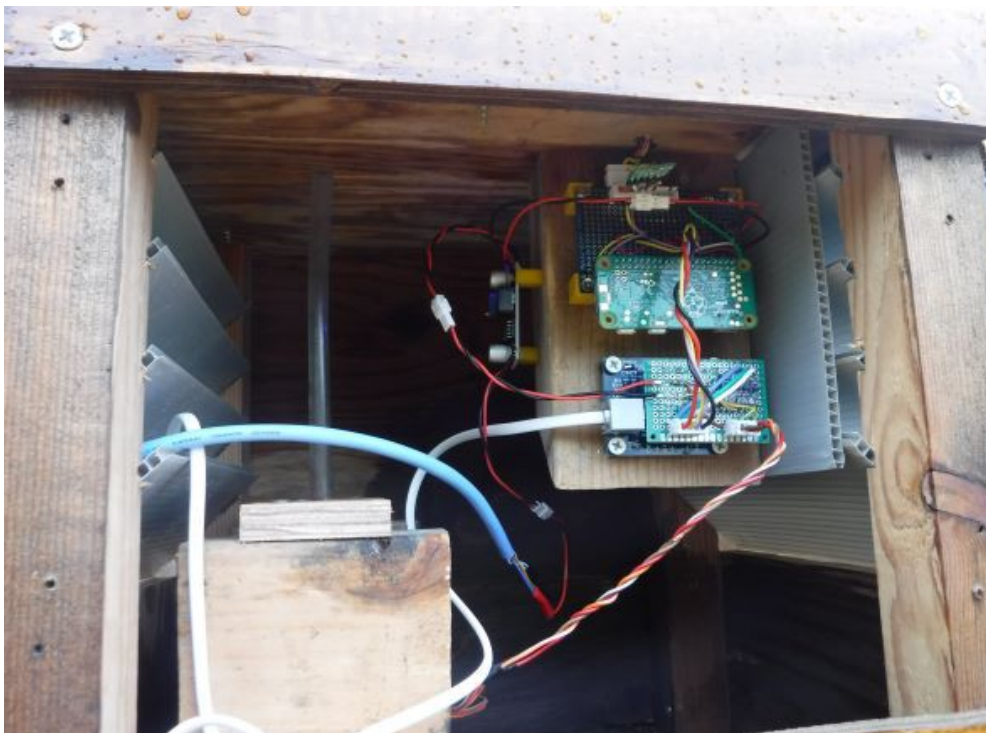


一昨年は倍近くのスコアでしたが JA4 エリアで3位で ASIA 14位だったのにです…。しかし、昨年の結果は JA4 エリアトップでも ASIA 31位でしたので、JA4 エリアの一昨年私の上にいる人達が、昨年は別の部門に移ったというだけのことですね。SOA-HPA 部門で JA4 エリアトップになったのは2015年以来6年ぶりでした。

Rank	Call	QTH	Year	Category	Score	QSOs	Zn	Cty	Hours
1	JH4ADK	JA4	2015	SA HIGH ALL	1,280,466	1,159	127	319	34.6
2	JH4ADK	JA4	2020	SA HIGH ALL	1,197,372	1,273	128	258	36.0
3	JH4ADK	JA4	1999	SO HIGH ALL	1,119,456	1,124	139	277	-
4	JH4ADK	JA4	2018	SA HIGH ALL	1,097,264	1,195	114	274	34.2
5	JH4ADK	JA4	2014	SA HIGH ALL	1,014,685	1,070	123	248	35.5
6	JH4ADK	JA4	2019	SA HIGH ALL	885,496	933	129	254	26.6
7	JH4ADK	JA4	2013	SO HIGH ALL (C)	825,246	900	122	220	23.8
8	JH4ADK	JA4	1998	SO HIGH ALL	812,058	976	135	242	-
9	JH4ADK	JA4	2016	SA HIGH ALL	686,664	711	124	272	27.9
10	JH4ADK	JA4	2021	SA HIGH ALL	674,494	799	108	218	23.3
11	JH4ADK	JA4	2017	SA HIGH ALL	555,975	672	112	241	26.5
12	JH4ADK	JA4	1989	SO HIGH ALL	325,290	548	83	127	-

5月13日 気象観測装置の改良(その3)

雨のシーズンを前に、従来のシステムに雨量と風向・風速が観測できるように改良しました。心臓部であるラズパイなどの基板類を百葉箱のようなものを製作して収納するようにしました。この箱の上に雨量を観測するための円筒を設置し、箱の中に鹿威し方式の雨量枡を設けて、雨量を測定します。強風で転倒する心配があったので、アウトリガーを設けて、その上にコンクリートブロックを載せて押さえています。気温を正確に測定するために、ガラリを設けて換気が十分できるようにしています。



雨量計のアルゴリズムは次のようなものとなりました。

- 1) GPIO のエッジ割込みを利用して、計量マスの転倒回数を計測する。
- 2) その間、1 分 (60 秒) に 1 回の割合でタイムアウトし、時刻が 59 分台だったら RAM ディスクに雨量を記録する。
- 3) この時、計量マス転倒回数をリセットする。
- 4) 計量マス転倒回数から、次のようにして時間毎の雨量を計算する。
 - 雨を集める桶の直径は 155mm
 - その面積は 18,869 平方ミリメートル
 - これに 1mm の雨が降ったら、18,869 立方ミリメートル
 - 即ち、18.869 ミリリットル=18.869g
 - 一方、実測により、計量マス 50 杯 (トグル 2 回) で 641g だったので、1 杯で 12.82g=12.82ml
 - これらの関係から、計量マス 1 杯は、 $12.82/18.869=0.679\text{mm}$ の降水量に相当する
 - 1 時間あたりの降水量は、1 時間の計量マス転倒回数に 0.679 を掛けた値とする

雨量測定のために、毎時 59 分 (即ち xx 時 59 分) に計量マス転倒回数から計算した降水量を RAM ディスクに書き込むような無限ループを持つ 1 本の python プログラム(windVector.py)を作成しました。

風向・風速測定のために、3 秒毎に測定するデータを 300 回分平均して RAM ディスクに書き込むような無限ループを持つ 1 本の python プログラム(uryoCount.py)を作成しました。

windVector.py と uryoCount.py は、supervisor を使ってブート時にデーモンとして自動起動するように設定しました。

温度・湿度・気圧および照度をセンサーから読み出して MySQL サーバに書き込むようにしていた従来のプログラムに、RAM ディスクから風向・風速・雨量データを読み出して同時に MySQL サーバに書き込むようにしました。(WXdataWrite.py)

WXdataWrite.py は、crontab を使って、毎時 00 分、15 分、30 分、45 分に起動するように設定しています。

このような概要のシステムが一応動作するようになりました。今後運用しながらデバッグや改良を継続していく予定です。

5 月 14 日 安芸クイーンとデラウェアを摘穂し誘引を開始

昨日、一昨日と雨降りだったので野良仕事を休みました。今日は張り切って、朝一番はブドウ園南法面の草刈りです。その後で、ブドウの生育状況を確認したところ、昨年よりも早く成長しているようです。



午後から、デラウェアと安芸クイーンの摘穂と誘引をしました。昨年よりも1週間程早めです。ということは・・・デラウェアのジベ処理が間近です。展葉枚数を確認したところ、早い新梢で8～9枚です。開花前ジベ処理適期は、展葉10～12枚とのことなので、もう直ぐです。フルメットを加えると適期を拡張できるとのことなので、もう少し様子を見てなるべく早めにデラウェアの開花前ジベ処理をしたいと思います。



5月15日 ピオーネの摘穂開始

朝一番は1時間程草刈りをしました。その後、ピオーネの摘穂を始めました。午後も作業して、半分終了しました。昨年の農業日誌と見比べると、摘穂作業は1週間ほど早いようです。今年は成長が早いというよりも、昨年はブドウ棚の下に落ち葉を敷き詰めていたので、作業の時期がずれているように思います。昨年秋に落ち葉を集めなかったため、今年は落ち葉を敷く作業は無しです。何か作業をしなくては手持ちぶさたなので、前倒しで摘穂をしているような感じです。どっちにしても摘穂という作業は必要なので、前倒しできれば、それで良いんじゃない？と思います。



5月16日 ブドウの若木を育てるのも楽じゃない

3年前に定植したシャインマスカットの若木を1本育成中です。ピオーネの摘穂の途中で、ちらっと見ると、先端部の新梢が枯れかけているのを発見しました。



何だろう?!と調べてよく見ると、先端から1m位の処の節のあたりに虫害の跡があるのに気付きました。その部分を折ってみると、接合部がパサパサです。これじゃあ水分や栄養分が届きません。



更に、ナイフで削ってみると、虫に食害された跡がありました。



この手の虫に効く薬ってあるんでしょうか？ハダニやスリップス・カイガラムシのような小さな虫に対する殺虫剤はありますが、それらでも適期に散布しないと効果はありません。今回食害されたような虫は、見えない程小さくはないものの、見つけて捕殺するというのはかなり困難です。

ブドウを作っていて思うのですが、虫が一番怖いんです。サルやアナグマに果実を採られても、樹が枯れることはありませんが、虫にやられると、樹が枯れてしまうことがあります。若木を育成して収穫できるようになるまでに5年程かかりますが、このように虫にやられたりして予定通りには成長しません。なかなか樹を育てるだけでも楽ではありません。

5月17日 ナイロンカッターで草刈

昨年、初めてナイロンカッターを試したので、今年で2年目です。当初は、石垣やワイヤーメッシュの近くの草刈りをする時だけに限定して使用していましたが、今年はブドウ棚の下もナイロンカッターで草刈しています。



昨年までは、ブドウ棚の下に落ち葉を敷いていたのですが、今年は試験的にやめてみることにしました。落ち葉を集めるのが面倒だし、落ち葉を半年間保管して、今頃ブドウ棚の下に敷き詰めるのも手間なので、落ち葉なしで済ませることができるのなら、それに越したことはないのです。落ち葉を敷くことの目的は、1)防草、2)保湿、3)土壌改良だと勝手に思っていますが、3)の効果の程は不明です。1)に関しては、今から7月中旬位までの間、ブドウ園での作業をしやすくするために必要なことですが、草刈りや除草剤という代替え手段があります。2)に関しては、梅雨明け以降の話なので、その頃に雑草が生えていれば、それによって保湿がある程度可能だと考えられます。

ということで、今の内に草刈りをしっかりやっておいて、ブドウの作業シーズンに間に合わせようという考えで、ナイロンカッターで綺麗に草刈りしておこうとしています。いよいよ手に負えなくなったら除草剤という奥の手も考えています。



ナイロンカッターを使うと、草の切れ端や土、砂などが飛んでくるのでエプロンは必需品です。これらが顔に当たって痛みを感じる場合があります。そこで、今日、遅ればせながら、フェイスシールドを購入しました。使ってみると、防護ガラスの代わりになるので視界が広くて作業し易く感じました。しかし、フェイスシールドを直接頭に被ると、頭の上にゴミが飛んで来ました。明日は、アラブ人のように頭に手ぬぐいを載せて、その上にフェイスシールドを被ってみようと思います。

5月18日 ゴールデンキウイの雌花は満開なのに・・・

連日気温が25℃を超えて、夏の陽気になっています。我が家のゴールデンキウイの雌花が満開になっています。



しかし、ヘイワード種の雌花や雄花は未だ蕾の状態です。



このままでは、ゴールデンキウイは結果しないという淋しい事態になりそうです。このような状態は今年に限ったことではありません。昨年はなんとかヘイワード種の雄花の開花時期とゴールデンキウイの雌花の開花時期がオーバーラップしたので、収穫できましたが、やはりゴールデンキウイの方が開花時期が幾分早いようです。一昨年は殆ど収穫できませんでしたので、このような事態に備えて、ヘイワード種の雄花から採取した花粉を冷凍保存しているので、それを使って人工授粉することにしました。

道具は、このためにホームセンターで買って来たオイル差しです。花粉を金網(ざる状に加工されているもの)でフルイにかけたものと増量剤としての小麦粉をオイル差しに入れてよく混ぜてから、粉を雌花に吹きかけました。上手く行けば、これで結実する筈です。



5月19日 ピオーネとシャインマスカットを捻枝

今日も午前中と午後の2回に分けて、燃料タンク1杯ずつナイロンカッターでブドウ棚の下を草刈りしました。午前の草刈りの後でシャインマスカットの捻枝をし、午後の草刈りの後でピオーネの捻枝をしました。



安芸クイーンとデラウェアは、既に誘引を始めていますが、ピオーネとシャインマスカットは未だ誘引を開始していません。できるだけ多くの枝を一度に誘引したいので新枝が伸び揃うのを待っています。しかし、中には成長が早い新梢があり、放置しておくと先端部がビニールにつかえて折れてしまうことがあります。このような事態を避けるために、新梢を捻じって元気を削ぐようなことをし

ます。

捻枝とは、文字通り枝を捻じることなのですが、新梢の繊維がブチッと切れる音がするくらい捻じります。時には樹液が飛んでくるともあります。これくらい虐めると成長速度にブレーキをかけることができるのです。

こんなことを考えた人は偉い！と思います。ブレーキの無い車なんて危なくて運転できないですよ。

5月20日 デラウェアの開花前ジベ処理

一週間程前から、いつジベ処理をしようかとデラウェアの展葉の様子を観察していました。そろそろ、もう良いでしょ！ということで、本日、ジベ処理を執行しました。デラウェアの開花前ジベ処理は、満開14日前が適期だとされているので、いつ満開になるのかを予測しなければならないのです。占い師でもない私にとって、予測するなどという大胆なことなど到底できる筈もなく、新梢の成長度合い・・・展葉枚数すなわち葉が何枚開いているのかを観察して、ジベ処理を適期を決めているのです。展葉10～12枚が、ジベ処理適期と言われています。



ジベレリン100ppmにフルメット5ppmの薬液に花穂を浸漬します。フルメットを加えることにより、ジベ処理適期を4日程拡大することができるそうです。なので、18日後の6月7日までに満開になっていればOKです。もしも、6月7日になっても満開していない花穂は摘花することにします。

5月21日 ピオーネの誘引を開始

先日、捻枝したピオーネの誘引作業をしました。新梢が勢い良く出揃ってきたので、多くの新梢を誘引しましたが、誘引できたのは3～4割程なので、誘引作業は始まったばかりです。



5月22日 スピードスプレーヤーの点検・整備

今日も晴れて暑い日でした。我が家の気象観測装置での測定結果によれば、最高気温は32.8°C(@15:30)でした。暑くなってくると、防除作業が辛くなってくるので、次回からはSS(スピードスプレーヤー)を使いたいので、車庫から出して点検・整備をしました。点検項目の詳細は定めていませんが、①エンジンがかかって、②走行できて、③ポンプやファンが動作し、④噴霧できれば良しとしています。



ドレインボルトの不良によりエンジンオイルが漏れていますが、漏洩量は半年間で約200ml程度

なので、深刻に考える程のことはないでしょう。漏れた分を補給するという方法で対処します。オイルゲージを見ながら少しずつ給油して、MAXレベル程度にしました。

ラジエータ用のファン(電動式)が駆動する際にベルトがスリップするような音がしますが、何が原因なのか不明です。一応ファンは回っているので、オルタネーターは正常に動作しているようです。

整備に一番時間を要したのは、噴霧用ノズルを掃除する作業です。砂のようなゴミや薬液の残渣などが詰まっていたので、一応、全てのノズルから勢い良く噴霧するようになりました。

中古の機械なので、壊れた部品があっても業者に依頼して修理したり整備したりつもりはなく、騙しながらでも使えるだけ使おうという考えです。



午後からは、シャインマスカットの誘引作業をしました。今日のところは、新梢の2割程度しか誘引できていませんが、これから順次誘引していきます。

5月23日 防除③

朝6時に起床して、早朝から防除作業を行いました。ロブラール(水)1500倍、トランスフォーム2000倍、アビオンE500倍の薬液を、まず300リットル調整して、その後200リットル追加で調整して合計500を散布しました。今回は、SS(スピードスプレーヤー)を使用しました。1列(50m)あたり約50リットルのペースで散布すればOKです。今年初めてのSSによる防除作業だったので、どうやってペース配分するのか思い出しながらの作業でした。



ペース(単位面積あたりの散布量)は、①ギヤポジション、②ポンプの圧力、③ノズルにつながる弁の開度で調整できます。あれこれ触ってなんとか500リットルの薬液を使い切るように調整しました。

今日も晴れて、夏を思わせる気温でした。晴れの日が続いているお陰で、ブドウの成長が例年に比べて早いように感じます。防除作業の後、午前中は草刈りとゴールドエンキウイの受粉(2回目)をして、午後からシャインマスカットの摘穂作業とモモの摘果作業を行いました。

近頃は天気続きで休む暇もなく、そろそろ疲れてきました。でも、ブドウは待ってくれません。まだ誘引作業もありますし、そろそろ花穂整形を開始する頃です。

5月24日 モモにスミチオン乳剤は失敗だったかも・・・

昨日、モモの摘果をしていたところ、毛虫を見つけました。モモの幼果が何かに食害されていたので、毛虫が犯人なのかもしれません。手おくれにならないうちになんとかせねば・・・と思い、防除を思い付きました。害虫は見つけた時に退治するのが基本です。

ブドウ用に購入している殺虫剤で、毛虫に効きそうなものはありませんでしたが、栗の毛虫対策用に購入していたスミチオンがあったので、それを使うことにしました。ラベルとみると、一応モモにも使えることになっていたのですが、1000倍に希釈した薬液を10リットル調整して、家庭用噴霧器で散布しました。



この噴霧器は AC100V で動作するので、モバイルバッテリーを持って行きました。我が家のモモの樹は小さく作っているので、1m 程の竿の先のノズルで噴霧しても十分全体に散布することができました。

散布量は、適切だったのかと思って、夕方、ネットで検索したところ、「スミチオン乳剤」の注意事項に「桃の初期散布(5~6月)には薬害がでるので使用をさける」とありました。どうも、やってはならないことをしてしまったようです。薬害とは、葉に細かい穴が開くとのことでした。

暫く、様子を見ることにしたいと思います。植物にとって葉は重要なので、今年の収穫は見込めないかもしれません。モモは自家用に栽培しているので、それはそれで諦めれば済むことです。諦めてしまえば、今後の収穫までの手間を省くことができたと、ポジポジティブに考えることにしましょう。

特に顕著な薬害が見られなければ、摘果、防蛾灯の設置、袋掛けなどを例年通り実施することにします。

5月25日 安芸クイーンの花穂整形

朝一番は、いつも通り草刈りでスタートしました。誘引をやりたいところですが、午前中に誘引をするとロクなことにならないので、安芸クイーンの花穂整形をしました。上の写真が Before で下の写真が After です。



最終的には、満開時の花穂の長さを3.5cm程度にするつもりですが、今回は花穂整形の第1弾ということで、花穂整形器という刃物を使って粗く整形しました。仕上げは後日、鋏を使って作業する予定です。花穂整形器の方が鋏よりも作業の能率が上がります。今の時期は、他にすることが沢山あるので、なるべく早くやっつけてしまいたいのです。花穂整形器を使って目印を作るのは困難なので、目印は作りません。他の方法でジベ処理済かどうかを判断しています。

昼間の暑い時間帯は、F1 MASAO(乗用草刈機)で太陽光発電所の草刈りをして、その後、F1 MASAOと軽トラックの洗車をしました。午後3時過ぎから、ピオーネの誘引をしました。昨日誘引

したブドウ棚では新梢が根本から折れてしまったのが5本以上あったので、今日は慎重に捻枝しながら誘引しました。午後7時までかかりました。嗚呼疲れた！

5月26日 誘引作業は難し～い

今日は正午頃から雨が降るという天気予報だったので、今朝は6時半頃からピオーネの花穂整形作業を始めました。3時間弱で3列のペースでした。1列は約50mなので、50m/時です。花穂整形とは言え、粗く作業しているので後日仕上げ作業が必要です。ピオーネとシャインとの合計は18列なので、後15時間かかるという計算です。満開までに処理できれば良いので、なんとかなるでしょう。ちなみに昨年のピオーネの満開日は6月6日でした。



花穂整形をしている時に、一昨日の誘引作業の結果、枝が取れてしまったものを多数目撃しました。ブドウを作っていて、この姿を見と悲しくなります。枝は沢山あるので、少々折れても大丈夫だと割り切りたいところですが、自分に原因があるので複雑な気持ちです。私の場合、未熟者が故に、誘引作業は心理的苦痛を伴うのですが、この作業をパスすることはできません。なんとか、困難な作業を終えて、次のステップに進まなければなりません。

どのブドウの品種も誘引時に枝が欠損することがありますが、私の感触ではピオーネが一番欠損し易いように思います。もしも、改植することがあれば、ピオーネは避けてシャインマスカットなどの作り易い品種にしたいものです。





10時からブドウ部会の管理講習会があったので9時半頃からでかけて、正午前に帰宅しました。正午頃からあめが降る天気予報でしたが、未だ降り始めていなかったなので、シャインマスカットの誘引作業をしました。結局、雨が降り始めたのは5時頃で、丁度シャインマスカットの誘引作業を終えた頃でした。



5月27日 デラウェアの摘心と安芸クイーンのマイシン処理

デラウェアの様子を見に行ったところ、花が咲き始めていました。そう言えば、ジベ処理以来ホッタラカンです。すっかり摘心するのを忘れていました。実留まりをよくするために摘心は必須です。新梢の先端を指で潰すことで、摘心作業としました。ついでに、副梢も摘心しておきました。



安芸クイーンの種無し処理を確実なものにするために、開花前にマイシン処理をしました。アグレプト液 1000 倍に花穂を浸漬して処理するつもりで開始しましたが、安芸クイーンの花軸は硬くて脆いため、2 本程折れてしまいました。昨年一昨年同様の経験があることを思い出しました。

従来は、デラウェアやピオーネ、シャインマスカットなどと同じように、PETボトルのカットしたカップに処理液を入れて浸漬していました。



折れやすいのを承知で恐々と処理するよりも、別の方法を試したいと思い、家に戻って蓄圧式片手噴霧器なるものを探し出してきました。これを使って、花穂に処理液を噴霧する方法を試しました。処理液は浸漬するよりも沢山必要ですが、アグレプト液は安い薬なので、少々処理液が必要でも問題ありません。これだと花軸が折れる心配がなく、安心して作業できました。何しろ、安芸クイーンの木は2本だけなので、今の時期に折角の花穂を折ることは避けたいのです。



5月28日 安芸クイーンの摘心

今朝は、安芸クイーンの摘心をしました。ついでに、副梢も摘心しました。安芸クイーンについては、満開までに花穂整形の仕上げを残すのみになりました。



5月29日 溜池が干上がりました

今日も暑い日でした。午前中、ピオーネの花穂整形をした後、お昼の休憩中に、ブドウに灌水するためにバルブを開きました。休憩が終わってブドウ園にやってくると、スプリンクラーの勢いがいつもと違って弱いことに気がきました。原因を探るために、溜池に行ってみました。すると案の定、溜池が干上がっていて、サイフォンの吸水口が露出していました。



こうなると何も為す術がありません。ひたすら雨が降るのを祈るばかりです。明日は雨が降るという天気予報なので、期待したいところです。今年は4月から晴天が続いており、降水量が平年に比べるとかなり少ないように思います。晴れの国を過ぎて、晴れ過ぎの国岡山です。

5月30日 シャインマスカットのマイシン処理と摘心

今日は曇りで時折パラパラと雨粒が落ちてくるような天気でした。夕方やや強い雨が降りましたが、短時間だったので、我が家の気象観測装置で測定した雨量は2mmでした。

朝はシャインマスカットのマイシン処理をしました。シャインマスカットの花軸は、安芸クイーンとは違って柔らかいので、少々曲げても大丈夫です。シャインマスカットの花穂は未だ切り込みをしていないので大きなままですが、花穂の先端が約4cmも浸かればOKです。



その後、安芸クイーンの花穂整形(仕上げ)をしました。開花を間近に控えているので、花のキャップが赤く色付いています。



昼前にシャインマスカットの摘心をしました。テキストによると、シャインマスカットの場合、房先本葉4～6枚を残せば良いということなので、以前、鋏でバチバチ切ったところ、花軸がコイル状になったり花振るいしたことがあるので、先端部を摘まむ方法で摘心しました。



昼前にシャインマスカットの摘心をしました。テキストによると、シャインマスカットの場合、房先本葉4～6枚を残せば良いということなので、以前、鋏でバチバチ切ったところ、花軸がコイル状になったり花振るいしたことがあるので、先端部を摘まむ方法で摘心しました。

5月31日 デラウェアが満開・モモの摘果

昨夕雨が降ったので、ブドウの葉などに露が着いている心配があったので、シャインマスカットの花穂整形の前に草刈りをしました。草刈りは久しぶりです。草刈りの後で、デラウェアの開花状況を確認しに行くと、9割くらいの花穂が満開になっていました。



草刈りを終わると9時を回っていたので、休憩の後にシャインマスカットの花穂整形をしました。これで、花穂整形器の仕事は今シーズンは終わりです。切れ味が少し悪くなったように思えるので、忘れない内に研いでおきたいと思います。

そろそろ、開花前の防除をする必要があるのですが、池が干上がっていることが判明したので、防除のために薬液を調整する水にも事欠く始末です。仕方がないので、家で野菜の水遣りのために湧き水を溜めている1kリットルのタンクからスピードスプレーヤーに水を入れました。家からブドウ園までの経路に坂道があるため、水がこぼるかもしれないので、500リットル容量のところ300リットルの水を入れました。防除には約600リットルの水が必要なので、いずれにしても二度に分けて薬液を作る必要があります。



ブドウの世話を明け暮れる日が続いたので、モモのことが気になっていました。幸い、スミチオンによる薬害は出なかったようなので、摘果作業をしました。既にモモはゴルフボール位の大きさになっていて、摘果作業は遅すぎたように気がします。



その後、ピオーネの誘引をしました。ほぼほぼ誘引は終わりに近づいた感があります。

今日から、妻にブドウの世話を手伝ってもらっています。妻の分担は、蔓切りと複梢の摘心です。例年になく、ピオーネの副梢が成長しているように思えます。副梢がビニールの天井に当たっていて、未誘引の新梢と見間違ふことが度々あります。